

臨床研究に関する情報

北海道大学病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報と研究用に保管された検体を用いて行います。

このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和4年3月10日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] ティッシュ・テック®エクスプレス® エックス 120 で処理された病理組織検体に関する研究

[研究代表機関名・研究責任者名・所属 / 研究機関の長の氏名]

北海道大学病院・畑中佳奈子・先端診断技術開発センター / 渥美 達也

[研究の目的]

悪性腫瘍で手術をおこなった場合、手術後に病理診断が行われます。病理診断の際には、病変組織から病理ブロックを作製し、その後、プレパラートとして腫瘍を確認し、今後のあなたの治療に必要な病理診断が行われます。このプレパラート病理ブロックをつくる方法に関しては標準的な方法が存在しますが、現在もさらに多くの研究が行われています。病理ブロックを作る工程で、通常用いている機械を使用した場合には、病理ブロックを作るまで2-3日程度の時間を要します。一方、「ティッシュ・テック®エクスプレス® エックス 120」という機械を用いることでこの工程を短くすることが可能で、1日以内に病理ブロックを作ることができます。この時、細胞の形に大きな変化がないことはわかっていますが、この機械を使うことでタンパクや、DNAやRNAといった核酸に影響がないかどうかについては、いまだによくわかっていません。そのため、この研究では、同意していただいた患者さんから手術で摘出した検体の一部の組織をご提供いただき、標準的な方法と「ティッシュ・テック®エクスプレス® エックス 120」という機械を用いた2通りの方法でプレパラート病理ブロックを作製し、細胞の形態やタンパク、DNAやRNAといった核酸に与える影響を検討することで、今後の治療の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

北海道大学病院 消化器外科 I、消化器外科 II、泌尿器科、呼吸器外科において、本研究実施許可日から2024年8月31日までの間に手術をおこなった患者さんで、手術時（組織採取時）の年齢が18歳以上の方を対象とします。

○利用する検体・情報 *情報は2024年8月31日までの情報を利用します

検体：手術時に摘出された組織検体のうち、診療で用いたあとの残余部分

情報：年齢、性別、病歴、臨床診断名、治療歴、手術日、検体種別、病理診断名、検

2024年5月23日（第4.0版）
体摘出時間、検体採取時間、ホルマリン固定開始時間、ホルマリン固定終了時間、FFPE 検体作製日、FFPE 検体保管期間

[研究実施期間]

実施許可日～2027年6月30日（登録締切日：2024年8月31日）

研究に利用する患者さんの検体や情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道大学病院 先端診断技術開発センター

研究責任者：畑中 佳奈子

住所：北海道札幌市北区北14条西5丁目

電話：011-706-7933